

県医労新聞

2011年8月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1853号(月刊68号)



「第57回岩手県母親大会 in 盛岡」で被災地からの報告をする釜石のみなさん（7月3日 岩手県公会堂）

目次

- 1 P 支部定期大会
- 2 P 第38回医療研究全国集会 in 新潟
第37回岩手県医療研究集会
- 3 P 新仮設診療所紹介
- 4 P 被災した県立病院の再建を！
「東日本大震災津波救援・復興
岩手県民会議」設立総会
- 5 P 女性部ニュース
- 6 P つぶやき・とんがらし
6月号パズル当選者
- 7 P 職場川柳 懸賞パズル
8・9号の予定 お知らせ



「第37回岩手県医療研究集会」(7月16～17日 ホテル志戸平)

支えあえる仲間がいる

支部定期大会、続々開催される

釜石支部



▲ 7月12日 院内会議室で開催。開始後、なんと震度4の余震。すぐに病棟に飛んで帰る組合員もあり、窓を開けて防災無線をしばし聞いてから進行。「お金だけではなく、見舞金をもらい、助けになった。困った時に支え合える仲間がいることが大切だ。頑張ろう」との発言がありました。

山田支部



▲ 定期大会一番乗りは山田支部でした。7月2日、定期大会と支部旅行を兼ねて、青森まで日帰りでさくらんぼ狩りです。兼務発令で他病院で働いている仲間も出席。定期大会と久しぶりの支部旅行で支部の団結を固めました。「県医労のみなさんありがとう！」

胆沢支部



▲ 7月15日 付属棟会議室で開催。胆江労連、東北労金、奥州市議〇〇さん、江刺支部長の4名を来賓に迎えて行われました。

一戸支部



▲ 7月14日「わわわのど〜も」で定期大会と歓迎会を行いました。定期大会では、各部署の大変な状況が出され、活発な意見が出された定期大会となりました。歓迎会は、子どもの参加も10名あり、にぎやかに行われました。

江刺支部が、
7月13日に「ますみや」で、
中央支部では7月26日
院内大ホールで開催しました。
今後は8月3日・遠野支部、
8月11日・南光支部、
8月25日・久慈支部で
開催予定です。

二戸支部



▲ 7月20日、院内会議室で行われました。となりの部屋で、機能評価の会議をやっているとはいえ、最後の「団結がんばろう」はきっちりとやりました。

感動・充実の2日間

第37回岩手県医療研究集会

「みんなで創ろう岩手の医療！」をテーマに開催された第37回岩手県医療研究集会は7月16日(土)～17日(日)「ホテル志戸平」で開催されました。

1日目のオープニングは盛岡市出身・井上成実由さんの津軽三味線で開幕し、医労連



優しい笑顔の太田宣承さん



「超演技派」
福岡大学教授の〇〇〇〇さん

次は特養ホーム副苑長で僧侶の太田宣承さんが
をとりながら熱演しまし
た。

〇〇書記長の基調報告のあと、記念講演が2つ行われました。

最初は、福岡大学教授の上野行良さんが「自分らしく輝くために2011岩手バージョン」と題し、人間関係のストレスをコントロールする方法について、役者顔負けの演技で笑

「被災地でここに寄り添う」と題し、被災地での活動を通し、



看護分科会・日本医労連
中野千香子さん

集会の成功で被災地を励まそう！

第38回医療研究全国集会は、6月17日(金)から19日(日)新潟で開催され、全国から1165人、県医労からは3人が参加しました。

1日目、主催者の田中千恵子実行委員長は、「こういう時だからこそ、集会を成功させ被災地を励まそう」と挨拶。記念講演はタレントの山田邦子さんが「大丈夫だよ。がんばろう」と題して行い、乳がんを受け入れながら生きようとする姿勢に、大きな感動が沸き起こりました。

2日目は15の分科会と2つの動く分科会が行われ、3日目の全体集会では、県医労・南光支部の〇〇〇〇さんが、シンポジストとして「震災時の状況」について全国の仲間に報告しました。

来年は京都で開催されます。



シンポジストとして発言した南光支部の
〇〇〇〇さん(右から2番目)

感じたこと、見えてきたことを講演。思わず涙する参加者が沢山いて、両講演とも大好評でした。
2日目は看護・介護・精神・保育の4分科会と基礎講座(2



基礎講座
講師は民医連の吉田博さん

題が行われました。
各分科会・基礎講座とも「よかった」と感想が聞かれました。全体で200名、県医労からは12支部・本部47名が参加しました。



保育分科会
「みんなで守ろう、子どもの笑顔」

定期大会のメッセージ

大槌支部でお披露目



激励の大会メッセージを前にする大槌支部のみなさん



■ 大槌仮設診療所 ■

大槌・山田・高田病院 兼務発令で減員し、仮設診療所へ

向けて準備がされてきました。職員の体制については、

被災した大槌、山田、高田病院は、それぞれ仮設診療所での医療提供を継続すること、それが決まられ、それぞれ新たな開設に

釜石病院で仮設住宅 日赤6点セットなし！

多くの組合員・職員が被災した釜石支部では、職員用の仮設住宅を要求。入居が始まりましたが、日赤の家電六点セットが支給対象外とされ、本部・支部で交渉を継続しています。



た。

組合では、早期に各地域に入院ベッドのある県立病院建設を進めることを求めています。



■ 山田仮設診療所 ■

宮古、大船渡、中央、胆沢病院等に兼務発令で、5月1日、6月1日、7月1日付けでそれぞれ「異動」となりました。この間本部・支部で、本人の事情を考慮するよう交渉しました。

新仮設診療所は、大槌が6月27日、山田が7月4日、高田が7月25日にそれぞれ開始されました。大槌の仮設では、7月8日(金)に被災後初めての眼科診療が行われ、沢山の患者が診療開始の9時から並び、夕方19時に診察を終えた方もいました。

被災した県立病院を再建して

「復興基本計画への意見募集」

■復興基本計画

岩手県では、東日本大震災津波復興計画として、2018年までの8年にわたる「復興基本計画案」を策定し、広く県民から計画に関する意見（パブリックコメント）を7月末まで募集しました。

復興基本計画では、緊急項目として仮診療所（薬局を含む）の整備、中核的病院の機能回復、医療提供施設の復旧支援と、短期・長期項目として、医療機関の整備支援（高台への移転等まちづくりと連動した整備・災害対応機能の強化）、遠隔医療を含めた保健医療・福

祉ネットワークの再構築とあるだけで、被災し診療不能となった県立3病院（山田、大槌、高田）の病院としての再建方針は、どこにも示されていません。

■パブリックコメント

医療の充実・県民の命を



パブコメハガキを県に提出

【東日本大震災津波】

救援・復興岩手県民会議 結成！

「東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議」の結成総会が、7月9日午後「盛岡市勤労福祉会館」で開催され、約200名が参加しました。

記念講演に続いて開催された結成総会では、陸前高田市議会議員、大船渡漁協理事、県保険医協会事務局長、陸前高田市職労委員長などとともに県医労中野中央執行委員長が、県の「復興基本計画案」を紹介し「被災した3県立病院の再建が明記されていない」と指摘、パブリックコメントに対する協力の訴えを行いました。「結成アピール」も採択され、救援・復興の一点にもとづく幅広い結集をめざすとともに、被災者に希望が見える真の復興をめざして運動をすすめましようと呼びかけられました。



パブコメの協力を訴える中野委員長

守る連絡会（いわて労連、岩手自治労連、岩手医労連、県医労）では、この復興基本計画案の内容をいち早く県民・患者に知らせ、「県立

病院を元通りに再建して欲しい！」の声を届けるため、急遽パブリックコメント応募用のハガキ付チラシ1万枚を作成し、被災した県立病院のある山田・大槌・高田地域の新聞に折り込みを行いました。また連絡会からの応援も得ながら、山田・大槌の各仮設診療所前や高田の米崎コミュニティセンター前、釜石病院前でのチラシ宣伝行動にも取り組み

ました。県医労宛に届けられたハガキは100通を超え、その多くが「それぞれの市町村にこれまでどおり入院ベッドのある医療機関として再建して欲しい」との声です。連絡会では22日、第一次分として寄せられた意見を県復興局企画室に届け、同時に県医労としても中央執行委員会としてパブリックコメントを出しました。

東日本大震災復興支援 第57回岩手県母親大会 in 盛岡

「大変な時だからこそ、集まろう」
東日本大震災の復興を願い、
岩手県母親大会が開催されました。

7月3日、第57回岩手県母親大会が公会堂で開催されました。震災後初めて行われた全県的な集会には、陸前高田、釜石をはじめ、津波で大きな被害を受けた沿岸部から120名余が参加し、全体で900名が加しました（県医労からは12支部・本部40名）。

なりました。フロアからは、釜石支部の〇〇〇〇さんが震災直後から今日までの医療現場の実情を話し、県立病院の再建を訴えました。

その他、「原発」講座、農林水産業や地域経済、食の安全にとっても大問題のTPPシンポ、そして、ムダな公共事業のダム建設よ

被災地への思いがひびいて



【上】全体会オープニング、みちのくみどり学園生の「野岳太鼓」
【下】600名が参加した「震災復興シンポジウム」

戸羽陸前高田市長がパネラーとして出席した「震災復興シンポ」は、600名を超える参加者であふれ、「国が被災者の立場で考えることが復興の早道」（戸羽市長）との言葉に、被災地との思いが一つに

りも震災復興をと「築川ダムの見学」などが行われました。

午後の全体会は、みちのくみどり学園生の「野岳太鼓」と、〇〇〇〇さん（小5）の「雨ニモマケズ」の詩の朗読で開幕。

今日の母親運動では、今も深い悲しみの中、懸命の努力を続けている被災地からの報告に、大きな激励の拍手が寄せられました。

震災から4カ月、情勢にあつたテーマと企画に、参加者が震災復興支援の思いを強くした大会でした。



被災地からの報告で支援に感謝のアピール

記念講演

**憲法を復興に活かそう！
原発も軍隊もない世界を！**

ジャーナリストで朝日新聞記者の伊藤千尋さんが講演。憲法の活かし方、原発や自然エネルギーに関して他国が



講師の伊藤千尋さん

とった政策などを紹介し、「環境を破壊するのは無知と欲だ」として、「被災地から変われば日本が変わる」とエールを寄せました。

つばやま

働きやすい職場環境づくりと言いつながら、年々悪化しているように思います。やることがいっぱい。でも負けずに頑張りましょう。

江刺支部 匿名希望

ゆっくり休み、一日一日を笑って過ごしたいです。

二戸支部 あじさい

震災から3カ月が過ぎましたが、風評被害に負けずに、みんなで頑張りましょう。

南光支部 よっちママ

大分暑くなり、季節はもう夏です。私たちは、自然に生かされているのだと、つくづく思う今日この頃です（あんなに哀しいことがあっても必ず季節は巡ります）。

大船渡支部 ゆう太郎

「東北、一致団結してがんばろう」と言う前に、政治家たちが一致団結してほしいと思う日々。トップがダメなら下が協力して頑張る気力を見せてほしいものです。

釜石支部 ビタミン

Tシャツで勤務。患者さんから何か言われそうできない。

中部支部 キヨ

6月号パズル 当選者発表

6月号パズル「まちがいは7つ」には27名の応募があり、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

6月号当選者(敬称略)
さくら餅、きなこ餅（二戸支部）、3年目の彼女（東和支部）、匿名希望（江刺支部）、よっちママ（南光支部）、ジャンボウさぎの妻、ゆう太郎（大船渡支部）、〇〇、ビタミン（釜石支部）、宮古やつち（宮古支部）



震災の影響で、スーパーからハガキが消えてしまいました。最近やつとチラホラ見えはじめました。がんばるぞー!!

中央支部 クッキーママ

とんがらし

今夏の電力需給は綱渡りの状態が避けられない。各地で原子力発電所の再稼働が困難になったためだ。政府は7月から東京

電力、東北電力管内で夏の電力不足に備えるため、電気事業法27条に基づく電力使用制限令を発動した。大企業など大口受給者を対象に、ピーク時使用電力で昨夏比15%削減を義務づけるもの▼電力使用制限令の発動は、1974年の第一次石油危機以来37年ぶり。違反すれば100万円以下の罰金も。中小企業、一般家庭にも義務こそないが同様に節電が呼びかけられ、照明の間引きや冷房温度の調節など節電の夏となった▼なお東北電力は、この夏は計画停電せずに乗り切れるとの見通しを発表したが、

実施する際は被災した沿岸部を除く内陸部が対象となる。最長で2時間。拠点病院や公共交通機関の一部は除外されるが、避難所や仮設住宅は対象になる▼また、全国各地で節電の取り組みが広がる中、エアコンを使用しない暑さ対策として、今年注目を集めるのが伝統的な和のグッズ。納涼うちわや水枕、蚊取り線香や蚊帳などが売れている。意外なところでは、ステテコの受注が昨年の倍以上になっているとか。ステテコは昭和の親父的なイメージもあるが、近年は部屋着として若者にも愛用されているという。デザインも豊富で、綿が汗を素早く吸収・発散しさわやかな着心地。この夏は縁側で蚊取り線香をたき、ステテコ姿でうちわをあおいで過ごした「昭和の夏」の光景が、各地で見られるかもしれない。(す)

- ◇懐かしき 蚊取り線香 いま特需
(節電する庶民)
- ◇できるなら 定時退庁 してみたい
(仕事に追われる人)
- ◇アナログな 私もTVは デジタル化
(間に合いました)
- ◇やつぱりね 調べず「安全」 根拠なし
(私は安心岩手牛!)
- ◇パブコメに 思いを託す 民の声
(祈りを捧げる少年)

職場川柳

東日本大震災
ろうきん復興支援キャンペーン
～大きな支援の輪で東北に元気を～

2011年 5/16(月)～8/15(月)

東北に甚大な被害をもたらした東日本大震災。その中で遺された子どもたちを支えようと、ろうきんはお預かりした預金のお利息の50%と、同額をろうきんが拠出してあしなが育英会へ寄付する、「復興支援定期預金」をスタートさせました。

子どもたちの未来のために、多くの皆さまのご理解とご協力をお待ちしています。

《ろうきん復興支援定期預金》

お預入れ金額	50,000 円以上
お預入れ期間	1 年
寄付金	定期預金利息〔税引後〕の50%+同額のろうきん拠出金
寄付先	あしなが育英会「東日本大震災・津波遺児募金」
寄付時期	2012 年9月

◎スーパー定期 ◎スーパー定期 300 預金種類 ◎大口定期

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送る先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は8月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ

懸賞パズル



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

8月の予定

- 3日(水)～ 7日(日)
岩手平和美術展(盛岡市民文化ホール)
- 5日(金)～ 6日(土)
県医労女性部第54回定期大会
(ホテル森の風鶯宿)
- 6日(土)～ 8日(月)
第43回全国保育団体合同研究集会in群馬
- 6日(土)～ 9日(火)
原水爆禁止2011年世界大会(長崎)
- 20日(土)
検査・診療放射線技師合同会議(県民会館)
- 26日(金)～28日(日)
全国アクトin和歌山
- 27日(土)
支部長会議(県民会館)
- 29日(月)
看護部会(県民会館)

9月の予定

- 3日(土)～ 4日(日)
岩手医労連定期大会(ホテル大観)
- 6日(火)～ 7日(水)
看護要求実現全国交流集会(熱海)
- 16日(金)
支部長会議(水産会館)
- 17日(土)
県医労女性部バスハイク(平泉・中尊寺)
- 岩手医労連青年部定期大会(予定)
- 22日(木)～ 23日(金)
組織拡大強化・共済推進全国交流集会
(花巻温泉「千秋閣」)
- 24日(土)
地域医療を守る全県交流集会(予定)
- 29日(木)
岩手医労連女性部定期大会(県民会館)

